

「39窃盗団」の一場面。左から押田大、押田清剛、山田キヌヲ



## 芸能

# 知的障害者の現実問う

## 「39窃盗団」コメディ映画に

知的障害者を主人公の実弟を主人公に製  
に彼らを取り巻く現実 作した異色作。

をユーモアを交えて描く ダウン症のキョウカ  
代(山田キヌヲ)と三人

いた映画「39(サンキ 押田清剛)の弟で発達  
監督は「僕は八人き

ユー)窃盗団」が五月 障害のヒロシ(押田大) ようだいの長男。映画  
十一、十七日、名古屋 は、詐欺師に「兄は盗み

・今池の名古屋シネマ をしても刑法三九条が か八歳年下の清剛を見

テイクで上映される。 あるから罪にならな てもらいたいと思っ

押田興将監督がダウン い「とそそのかさされ、幼 きた。これまで主にド

キムメンタリー映画に チャーミング。一緒に 利用する人たちをど

携わってきたが、おし 出演してくれた弟の大 までも信じ、助け合う

かりを覚悟でコメディ もそう思っている」。 三人の姿は、逆に健常

ーにしようと思った」 四月から始まった新 者社会の問題点をつき

と自ら脚本を書いた。 型出生前診断の是非が つけてくるようだ。

重いテーマではある 取り沙汰されているが (田辺洋子)

が「子どものころから 「命の選別の前提に障 害見はかわいそう、家

普通とは違つが笑顔は 害見はかわいそう、家 族はつらいといった不

かわいかったし、清剛 族はつらいといった不 幸が前提になっている

とはない。世の中は不 幸が前提になっている のに違和感がある」と

幸を定義化し過ぎてい 監督。

らと思った。三十六歳 物事にこだわらず、

のおっさんになっても 自分たちをたましたり

7(22) 5599。

30人。予約は電058

1、4、7時。各定員

る。午前10時、午後

法人たま、このあしあと

(愛知県稲沢市日下部

南町4)で上映会があ